

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2021年7月2日）

■第1版 第3刷（2021年4月20日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodoshisha.co.jp/correction/9784758102254_corrections.pdfをご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
2章-2					
48	下から10行目	0～3点	0～3(4)点		21/07/02
49	「memo」, 最終行	「 <u>言う</u> 」は困難だが、	「 <u>聞く(聴く)</u> 」は困難だが、		21/07/02
64	1行目	支持基底内での	支持基底 面 内での		21/07/02
69	4行目	無視側の	非 無視側 (非麻痺側) の		21/07/02
2章-3					
80	12行目	介護者(患者家族)を	介護者(患者 の 家族)を		21/07/02
5章-1					
312	下から12行目	障害レベルの脊髄で、	障害レベル 以下 の脊髄で、		21/07/02
314	下から6行目	障害される(<u>解離性感覚障害</u>)(図7)	障害される(図7)	(解離性感覚障害)を削除	21/07/02
317	図9説明文	※1参照			21/07/02

図表

※1 以下のように、赤矢印と黄色矢印の入れ替えをお願いいたします。

図9 脊髄血管奇形のMRI (A) と血管造影 (B)

- A) MRI T2強調像にてnidus (➡) とflow void (⬅)、
- B) 脊髄血管造影にてnidus (➡) を認める。なお、MRI T2強調像では脊髄は黒、くも膜下腔は白く写るが、本画像は脊髄の下端に近いために脊髄が目立たない（文献2より改変）。